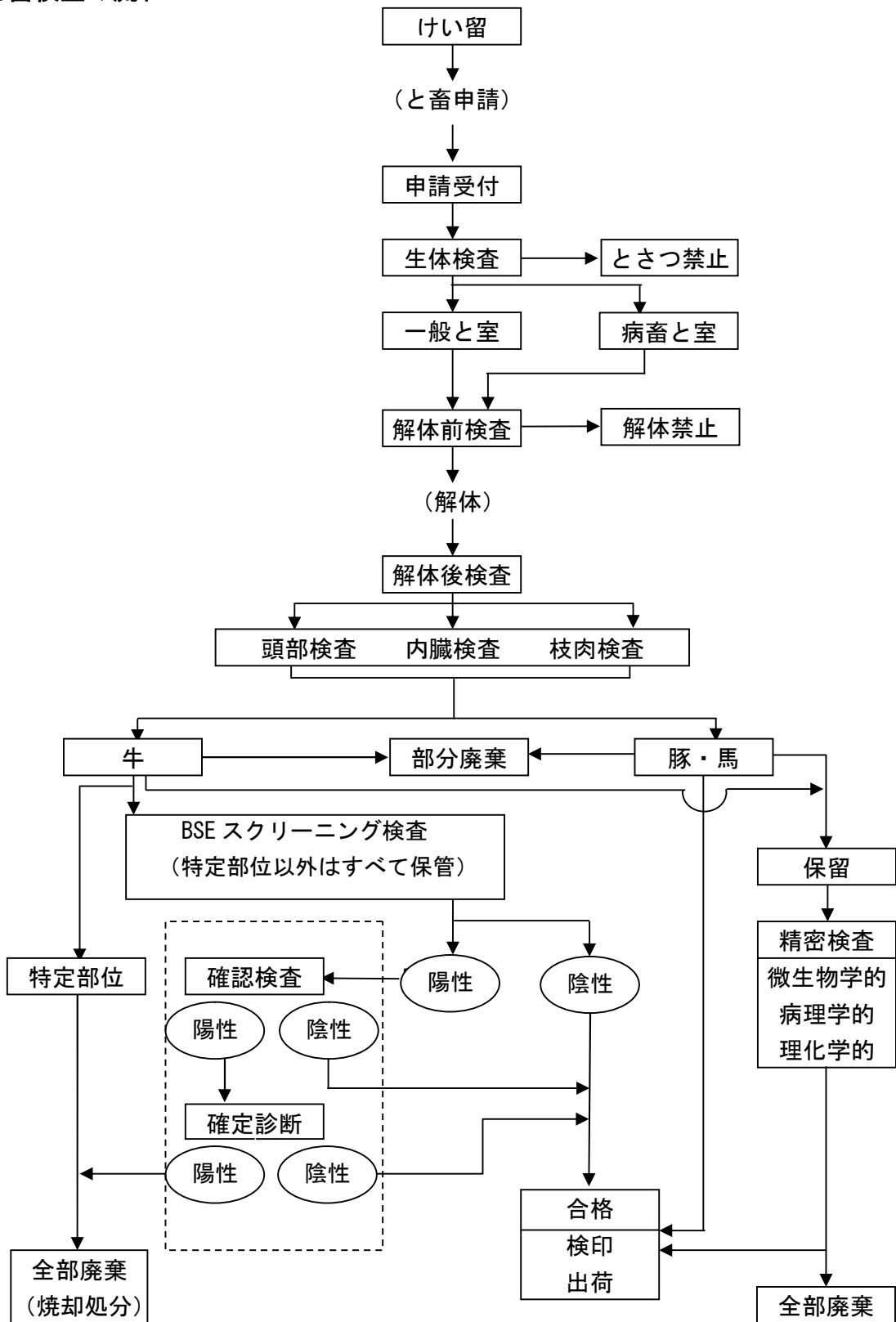


Ⅱ. と畜検査の概要

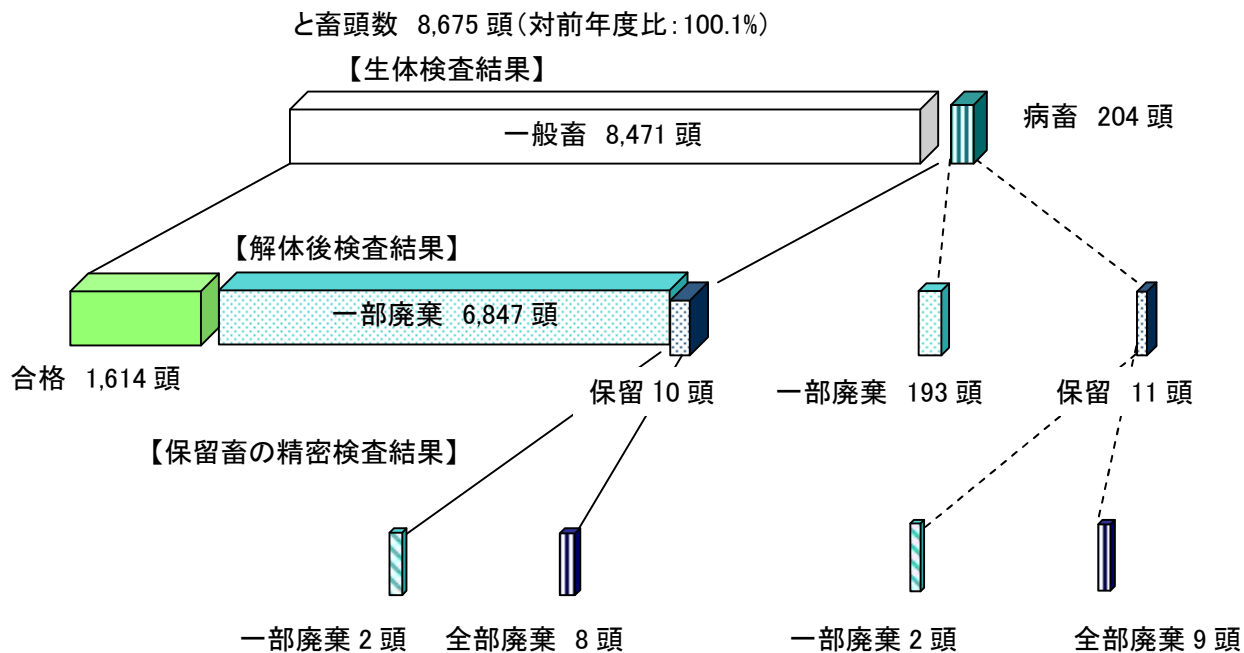
1. と畜検査の流れ



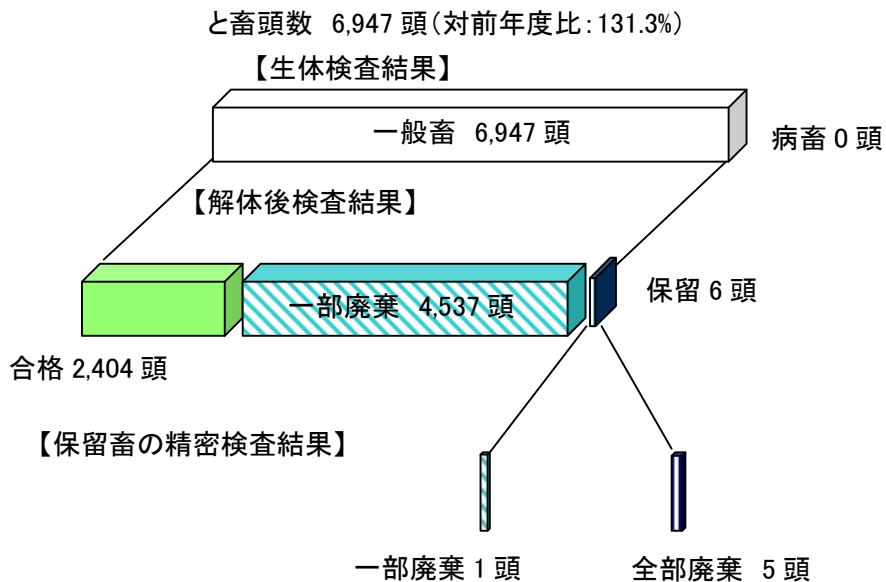
★ 滋賀食肉センターで処理される獣畜： 牛、豚、馬

2. と畜検査の概要

(1) 牛 (単位: 頭)



(2) 豚 (単位: 頭)



3. と畜検査状況

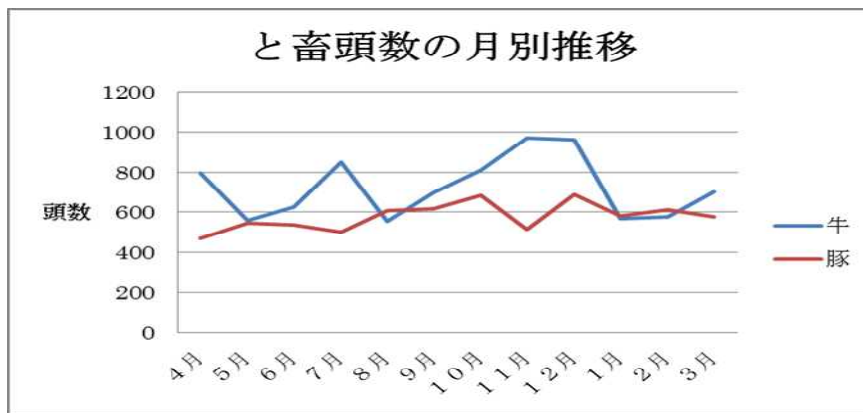
(1) と畜頭数

ア 平成26年度と畜頭数

月別・獣畜別頭数 (含病畜)

(頭)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大動物	牛	794	559	628	848	557	698	811	969	959	569	579	702	8,673
	馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	794	559	628	848	557	698	811	969	959	569	579	702	8,673
小動物	豚	471	547	537	501	608	619	685	516	688	581	615	579	6,947
	とく								1	1				2
	計	471	547	537	501	608	619	685	517	689	581	615	579	6,949
合計		1,265	1,106	1,165	1,349	1,165	1,317	1,496	1,486	1,648	1,150	1,194	1,281	15,622

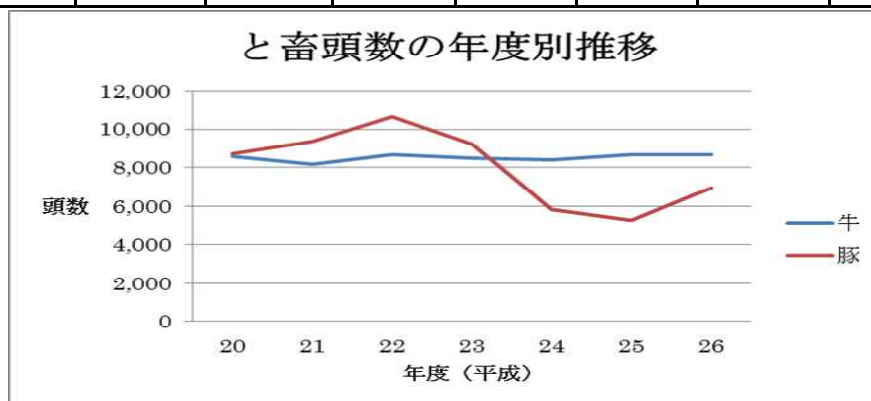


イ と畜頭数の推移

年度別・獣畜別頭数

(頭)

動物種	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
牛	8,559	8,174	8,648	8,470	8,397	8,663	8,673
馬	0	0	0	0	0	0	0
豚	8,695	9,349	10,655	9,231	5,839	5,290	6,947
とく	0	0	1	0	0	1	2
めん羊	0	0	0	0	0	0	0
山羊	0	0	0	0	0	0	0
合計	17,254	17,523	19,304	17,701	14,236	13,954	15,622



(2) と畜場外と畜頭数の推移：平成8年度以降0頭

(3) 獣畜のと殺解体禁止または廃棄したものの原因

原因別の廃棄頭数

(頭)

		牛			とく			豚			
とさつ頭数		8,673			2			6,947			
		禁止	全部廃棄	一部廃棄	禁止	全部廃棄	一部廃棄	禁止	全部廃棄	一部廃棄	
処分実頭数		0	17	7,040	0	0	2	0	5	4,538	
疾病別頭数	細菌病	炭そ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		豚丹毒	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		サルモネラ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		結核病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ブルセラ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		破傷風	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		放線菌病	0	0	5	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ウイルス・リケッチア病	豚コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	原虫病	トキソプラズマ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄生虫病	のう虫病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ジストマ病	0	0	21	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の疾病	膿毒症	0	0	0	0	0	0	0	5	0
		敗血症	0	3	0	0	0	0	0	0	0
		尿毒症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		黄疸	0	3	0	0	0	0	0	0	0
		水腫	0	0	196	0	0	0	0	0	7
腫瘍		0	0	4	0	0	0	0	0	2	
中毒諸症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
炎症又は炎症産物による汚染		0	0	6,079	0	0	2	0	0	4,469	
変性又は萎縮		0	0	2,610	0	0	0	0	0	15	
その他	0	11	210	0	0	0	0	0	162		
計		0	17	9,125	0	0	2	0	5	4,655	

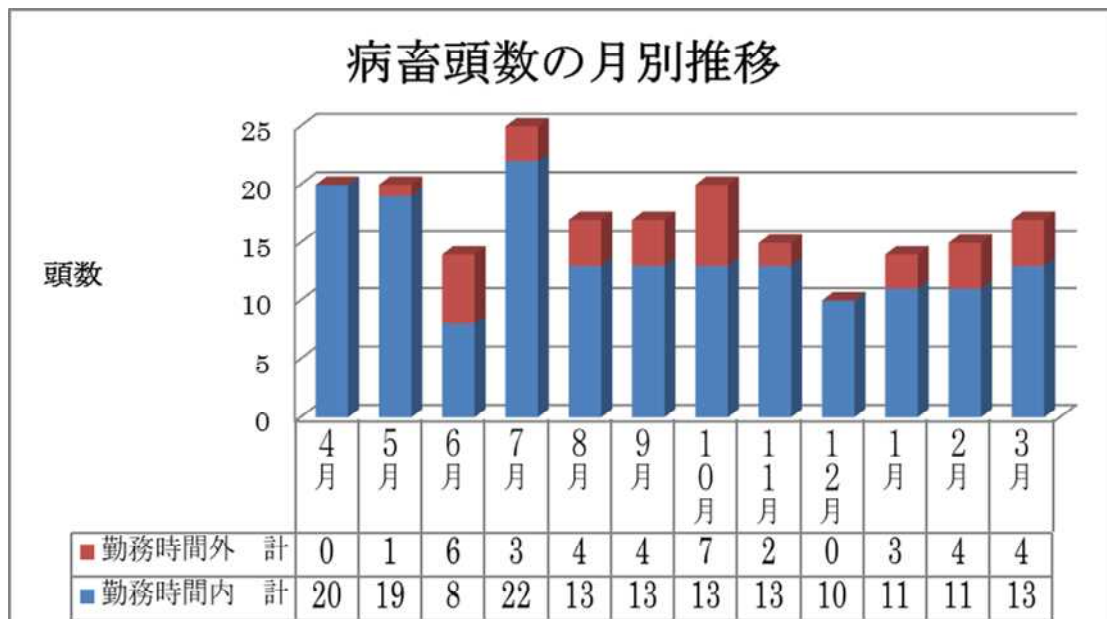
(4) 病畜と畜頭数

ア 平成 26 年度病畜と畜頭数

月別・獣畜別・時間別頭数

(頭)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
勤務時間内	牛	20	19	8	22	13	13	13	12	9	11	11	13	164
	とく								1	1				2
	馬													0
	豚													0
	計	20	19	8	22	13	13	13	13	10	11	11	13	166
勤務時間外	牛	0	1	6	3	4	4	7	2	0	3	4	4	38
	とく													0
	馬													0
	豚													0
	計	0	1	6	3	4	4	7	2	0	3	4	4	38

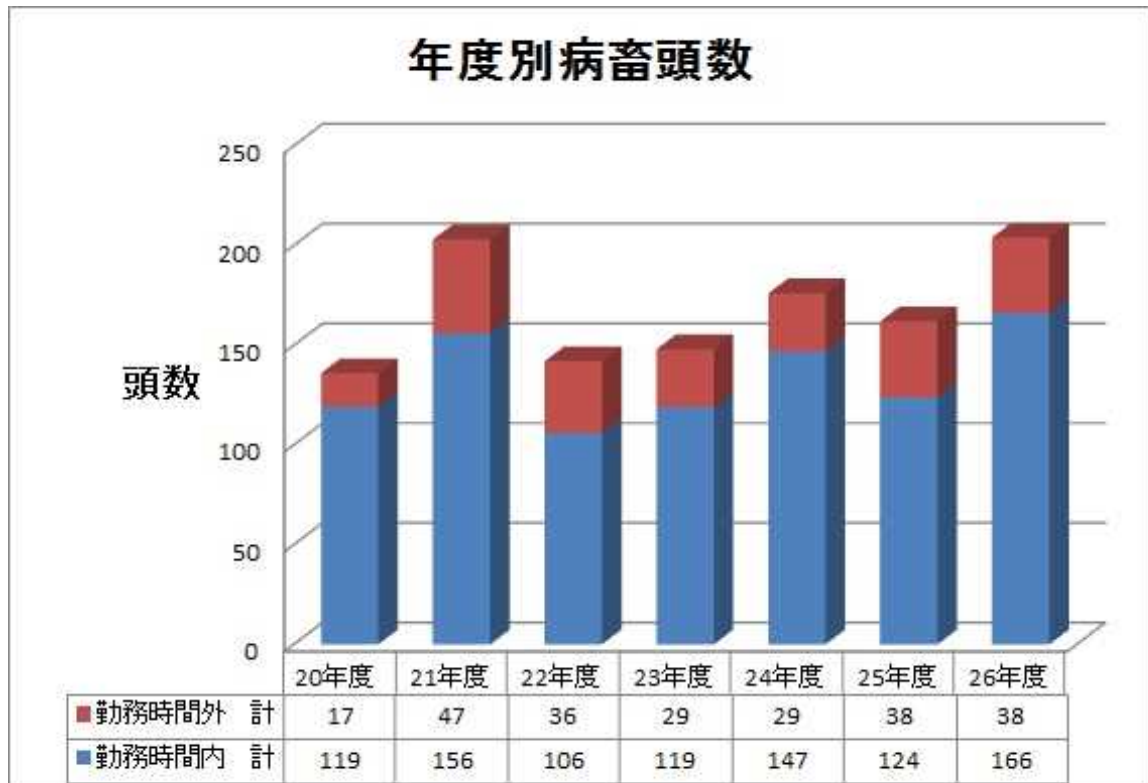


イ 病畜と畜頭数の推移

年度別・獣畜別・時間別頭数

(頭)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
勤務時間内	牛	118	125	101	118	145	123	164
	とく	0	0	0	0	0	1	2
	馬	0	0	0	0	0	0	0
	豚	1	31	5	1	2	0	0
	計	119	156	106	119	147	124	166
勤務時間外	牛	17	47	36	29	29	38	38
	とく	0	0	0	0	0	0	0
	馬	0	0	0	0	0	0	0
	豚	0	0	0	0	0	0	0
	計	17	47	36	29	29	38	38
合計		136	203	142	148	176	162	204



ウ 病畜検査後の診断

診断名	延べ数
ビタミン A 欠乏症	1
牛白血病	4
敗血症	3
ルーメンアシドーシス	1
軽度の黄疸	2
中等度の黄疸	1
高度の黄疸	2
軽度の水腫	4
中等度の水腫	3
化膿性関節炎	1
関節炎	33
関節周囲炎	1
変形性関節症	1
筋炎	14
筋断裂	8
股関節脱臼	8
骨折	7
外傷性脳脊髄損傷	1
坐骨神経麻痺	3
腱断裂	1
蹄葉炎	2
趾間腐爛	1
趾間フレグモーネ	1
乳房炎	4
急性乳房炎	1
化膿性乳房炎	1
胃炎	11
胃腸炎	11
腸炎	14
出血性腸炎	1
小腸炎	1
大腸炎	2

(頭)

診断名	延べ数
第 4 胃変位	1
第 4 胃癒着	1
第 4 胃捻転	1
局在性第 4 胃腫瘍	1
脂肪壊死	14
心外膜炎	1
心筋変性	1
心冠部水腫	1
化膿性咽喉頭炎	1
肺炎	57
輸送性肺炎	1
肺膿瘍	1
肺気腫	1
胸膜炎	2
化膿性胸膜炎	2
胸腹膜炎	1
腹膜炎	4
肝炎	22
肝膿瘍	4
腸間膜水腫	1
腹腔内膿瘍	1
腹腔内血腫	1
炎症産物汚染	1
腎結石	1
腎腫瘍	1
尿結石	2
尿道炎	1
膀胱・尿道周囲膿瘍	1
尿道結石症	1
尿路閉塞	1
子宮蓄膿症	2
子宮内膜炎	1
出血性筋炎	22

※複数の診断名がつく病畜があるため、延べ数で算出している。

(5) 保留獣畜の措置

ア 保留獣畜の精密検査成績

牛		(頭)		豚		(頭)	
	全部廃棄	一部廃棄		全部廃棄	一部廃棄		
尿毒症	0	0		膿毒症	5	0	
白血病	11	0		敗血症	0	0	
敗血症	3	0		筋肉膿瘍	0	1	
高度の黄疸	3	0		計	5	1	
腹膜炎							
尿石症	0	1					
黄疸	0	1					
中等度水腫	0	1					
多発性肝膿瘍	0	1					
第4胃・腎腫瘍	0	1					
計	17	5					

イ 保留獣畜に係る精密検査の検体数

検査部門	検査理由	検査頭数	検体数	検査件数
理化学	疑尿毒症	1	3	5
	疑高度の黄疸	4	8	20
病理	疑牛白血病	12	123	155
	疑敗血症	2	19	38
微生物	疑膿毒症	7	67	134
	黄疸	2	15	30

ウ 獣畜別全部廃棄理由の推移

(頭)

獣畜		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
牛	膿毒症	0	0	3	1	3	0	0
	敗血症	4	1	2	5	4	4	3
	尿毒症	5	10	8	1	8	6	0
	高度の黄疸	0	0	2	1	1	1	3
	高度の水腫	0	0	2	0	0	0	0
	牛白血病	3	3	4	9	3	3	11
豚	膿毒症	9	12	8	9	9	8	5
	敗血症	1	2	0	5	3	2	0
	白血病	0	0	0	1	0	0	0
	全身性腫瘍	0	1	1	0	0	0	0
	全身性炎症	0	0	1	0	0	0	0
	豚丹毒	0	0	0	0	1	0	0
計		22	29	31	32	32	24	22

(6) 牛海綿状脳症（BSE）に係る検査の概要

48 カ月齢超の牛について BSE スクリーニング検査を実施したところ、結果はすべて陰性であった。また、生体検査において運動障害、知覚障害、反射または意識障害等の神経症状が疑われたものおよび全身症状を呈する牛、あるいは BSE の疑いがあるため、とさつ禁止措置を講じた牛はなかった。

牛海綿状脳症（BSE）スクリーニング検査結果 (頭)

検査頭数	陽 性	疑陽性	陰 性
137	0	0	137

4 輸出牛肉検査

「対シンガポール輸出食肉の取扱要領」、「対マカオ輸出牛肉を取り扱うと畜場等の選定等要領」、「対タイ輸出牛肉取扱要領」、「対フィリピン輸出牛肉の取扱要綱」、「対ベトナム輸出食肉取扱要領」に基づき、食肉検査および衛生的処理の監視指導等を行った。

平成 25 年度においては、管轄施設から計 18595.5kg の牛肉がシンガポール、マカオ、タイに輸出された。

輸出実績

(kg)

年度	合計	シンガポール	マカオ	タイ	フィリピン	ミャンマー	ベトナム
26 年度	22,016.9	12,316.4	73.8	7,168.6	2,149.8	293	15.3